

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす



2017-2018年度 RI会長 イアン H. S. ライズリー氏

例会予定 3月21日 法定休会

3月28日 会長エレクト研修セミナー報告・地区チーム研修セミナー報告

VOL. 55 No. 30(通算No. 2549)

2018年 3月14日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

外 部 卓 話 茨城県立水海道第二高等学校

校長 佐藤 誠様



2017-2018年度 会 長 石 塚 克 己 幹 事 倉 持 功 典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



3月は水と衛生月間

例会報告 VOL. 55 No. 29 (No. 2548) 3月7日(水)晴れ (司会 大塚令昌委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎IMを終えて 青木清人ガバナー補佐

◎第2回国際奉仕委員会フォーラム 瀬戸隆海会員

誕生祝



《会 員》鈴木茂徳会員 染谷正昭会員 荒井孝典会員

《ご夫人》島田会員 荒井会員 石塚(克)会員 小島会員

諸 報 告

親睦活動委員会 石塚利明委員長

観劇会ご案内のFAXお手元に届いているかと思えます。ご返信の程宜しくお願い申し上げます。

雑誌委員会 鈴木茂徳委員長

3月号のロータリーの友のご案内です。

今月は、水と衛生月間としまして「一滴の水から広がる奉仕」また世界ローターアクト週間ということで「ローターアクトからロータリーへ」という二つの特集が組まれております。

まず、「一滴の水から広がる奉仕」の中で私が注目をしたのが「ハノイの平和村に快適な水環境を」という記事でございます。ハノイではいまだにベトナム戦争で使われた枯葉剤の影響が残っており、それは第2世代、第3世代にまで及んでいるとのこと。障害児施設「平和村」では枯葉剤の影響とみられる障害児のリハビリテーションと教育、ハノイ市街のストリートチルドレンの自立を担っていますが、老朽化した施設の改修などに苦慮しているということを受け、彦根ロータリークラブが手洗い場、シャワー、トイレ設備の改修を行いました。水回り設備の改修というささやかな奉仕ではありますが、施設で過ごす子供たちにとっては大きな改善です。国際奉仕事業が始めてだったという彦根ロータリークラブは、このような国際奉仕を世界に広げていく重要性を実感し、今後もこうした活動を行っていきたくと述べています。

次に「ローターアクトからロータリーへ」では、ローターアクターからロータリアンへとなった方々が、ローターアクター時代の経験をロータリアンとなってからどのように活かしているかを取り上げています。

最後に、今月の「クラブを訪ねて」は網走ロータリークラブです。第2500地区のガバナーを30年振りに出したという事で「あっつく」燃えているクラブの様子が取り上げられています。是非ご覧になって頂きたいと思えます。以上で3月のロータリーの友の紹介を終わります。

55周年記念誌委員会 瀬戸隆海記念誌委員

皆様のボックスにコメント記入用紙を入れさせていただきました。締切日は3月末日です。また、3月の例会時に皆様の顔写真を撮らせて頂きたいと思えます。

3月は水と衛生月間

幹事報告 倉持功典幹事
週報受理クラブ 水戸RC、水戸西RC
例会変更通知 なし

会長挨拶 石塚克己会長



3月第1週の挨拶を申し上げます。

2月24日のIM開催におかれましては会員皆様のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。いつもながら、ここぞというときに一致団結する水海道ロータリークラブのDNAを感じました。ガバナー補佐の青木清人さん、ホッとひと段落、お疲れさまです。

3月に入り、いよいよ次年度に向けた勉強会や動きが盛んになってきました。3月3日には次年度地区委員の研修セミナーが実施され、北村英明さん、石井さんが参加されました。お疲れさまです。24日～25日には次年度会長研修 PETS も行われます。染谷(秀)エレクトにおかれましてはよろしく願いいたします。

今月、ロータリーでは「水と衛生特別月間」となっています。RI定義では「**地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。**」となっております。

日本は適度な雨量と冬の雪が国土の7割という森林により浄化され、生活に潤いをもたらして、まさに水と衛生健全の国です。ロータリーの「水と衛生特別月間」テーマは開発途上国や貧困にあえぐ国や地域への人道支援でもあることでしょう。

経済大国世界2位の中国をみますと、国土の2割程度の森林しか無く、しかも潜在的な水不足により深刻な水の汚染、不衛生が顕在化しているようです。

それに関連して本日は瀬戸会員から「インド訪問」の卓話・報告を頂きます。インドも経済成長率が著しく、いろいろな意味での国力が高まっていますが、国民の生活や環境の面で全国津々浦々に道路や上下水道が整備され、医療機関の存在、車の所有など日本の比ではないと思います。

その辺の実情や現実なども知る事ができればと、楽しみにしています。どうぞよろしく願い申し上げ、挨拶といたします。

今週のロータリーソング

おめでとう皆出席
一、奉仕の機会 求めつつ
出席しよう 我らの集い
奉仕の理想 掲げつつ
今日も楽しい 皆出席
あゝロータリアン
皆出席 おめでとう
(一九九六年)
作詞 田沼次郎(東京目黒RC)
作曲 甲斐正人

3月は水と衛生月間

IMを終えて 青木清人ガバナー補佐



2月24日IM開催にあたり、クラブの皆様には大変ご協力を頂き無事成功裡に終了出来ましたことに対して厚く御礼申し上げます。
各クラブからは、称賛のお言葉を頂いていることをお知らせ致します。
石塚会長、熊谷実行委員長並びに各委員長を始め会員の皆様には、大変なお骨折りを頂き、水海道ロータリークラブの実力を示せたものと思っております。
ガバナー補佐としての最後の仕事は、6月7日(木) 水海道ゴルフクラブでの親睦ゴルフコンペになります。

IM同様コンペにもふるって参加をお願い申し上げます。

第2回国際奉仕委員会フォーラム 瀬戸隆海会員



インド ポリオワクチン投与ボランティア 報告

私がこのボランティアに参加するきっかけ

- 5年前に、弘前アップロータリークラブの岡場氏からのポリオの研究会を、増上寺で開催したいとの電話。
- 岡場氏との出会い、地区青少年交換委員長の時に、長崎空港からハウステンボスに行くバス。
- そこで、2820では聞かないポリオのたくさんの情報が、
- 会場には、250名の各地区の担当者や、各クラブ単位の参加者が出席、しかし、2820地区の関係者の出席は無し。

10月24日は世界ポリオデー



END POLIOへの支援とロータリーの公共イメージ向上

「子供たちに、ポリオのない未来を！」

END POLIO NOW



「ポリオ」という病気

- ポリオ(急性灰白髄炎)は、非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では、一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。
- ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のまひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまでに世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

ポリオに関する最近の歴史&撲滅活動の主な進展

- 1894年 米国史上記録に残る初のポリオ大流行(パーモント州) 18人が死亡、132人のまひ症状が報告される。
- 1905年 スウェーデンの内科医オットー・イヴァー・ウィックマンがポリオは人から人に感染する病気であり、症状のない人もポリオに感染している可能性があることを指摘。
- 1908年 ウィーンの2人の医師が、ポリオがウイルス感染による病気であることを発表。
- 1916年 ニューヨーク市でポリオ大流行、2,000名以上が死亡、全米でも約6,000名が死亡し、数千人がまひの障害に。

ポリオに関する最近の歴史&撲滅活動の主な進展

- 1955年 ジョナス・ソーク博士が開発したワクチンが「安全で効果的である」と宣言される。
- 1960年 アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可。
- 1979年 フィリピン600万人の子供のために、ポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始。
- 1985年 国際ロータリーが、民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」開始。当初募金目標は1億2,000万ドル。

ポリオに関する最近の歴史&撲滅活動の主な進展

- 1988年 国と世界保健機構(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当初の症例は、125カ国で推定35万件。
- 1994年 「ポリオ撲滅認定のための世界委員会」が、南北アメリカ大陸からポリオ撲滅を発表。
- 1995年 中国とインドで保健従事者とボランティアにより僅か1週間て1億6,500万人の子供達にワクチン投与。ポリオプラス・パートナープログラムの立ち上げ。
- 2000年 5億5,000万人(世界人口の10分の1近く)という記録的な数の子供に経口ポリオワクチンを投与。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。
- 2003年 ロータリー財団が一年間で1億1,900万ドルの募金に成功。これで寄付総額が5億ドルを超える。ポリオ常在国数は6カ国となる。(アフガニスタン、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)

ポリオ常在国



ポリオに関する最近の歴史&撲滅活動の主な進展

- 2004年 アフリカの23カ国で8000万人の子供を対象に一斉に全国予防接種日を実施。アフリカ大陸で最大規模の予防接種活動。
- 2006年 ポリオ常在国数が4カ国に(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)。
- 2009年 ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに3億5,000万ドルの補助金を提供することを発表。その結果、撲滅推進活動で5億5,000万ドルを寄付。その後発表の著名人が、ロータリーの新しい啓発キャンペーン「あと少し」に参加。
- 2014年 WHOが、インドからのポリオ撲滅を発表。
- 現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国。

ポリオ常在国



今年の発症状況



ポリオプラス・パートナープログラム

- 現地のロータリーと、海外のロータリーと、保健従事者(WHO)と手を組んでワクチン投与を行っています。
- 日本においては、特に2830地区(青森)をはじめ全国のロータリーが地区やクラブ単位でインド、カンボジア、バングラデシュ等に向いて活動を行っています。
- 2820地区は、そのような活動を実施していないし、実際に現地に向かえば人は数少ない。

3月は水と衛生月間

生ワクチンと不活化ワクチン

- **生ポリオワクチン**には、病原性を弱めたウイルスが入っています。
「生ワクチン」は、ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったものです。ポリオに感染したときにはほぼ同様の仕方で強い免疫が出ます。免疫をつける力が優れている一方で、まれにポリオにかかったときと同じ症状が出ることもあります。その他、麻疹(はしか)や風しん(三日はしか)のワクチン、結核のBCGが生ワクチンです。
- **不活化ポリオワクチン**は、不活化した(殺した)ウイルスからつくられています。「不活化ワクチン」は、ポリオウイルスを不活化(=殺)し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしてつくったものです。ウイルスとしての働きはないので、ポリオと同様の症状が出るという副作用はありません(ただし、発熱など、不活化ワクチンでも副反応が生じることがあります。)。その他、百日せきや日本脳炎のワクチンが不活化ワクチンです。

日本ではもうポリオは発生していませんが、ポリオワクチンの接種が必要なのですか？

- **予防接種によってポリオの大流行を防ぐことができました。**
日本では、2000年(平成12)年に、ポリオ患者の数が4年連続でゼロになりました。かつては、流行が止まらなかった、生ポリオワクチンによる大流行の恐れがありました。WHO(世界保健機関)の報告によると、現在まで、野生のポリオウイルスによる大流行は発生していません。
- **今でも、海外から、ポリオウイルスが国内に入ってくる可能性があります。**
海外では、依然として流行が繰り返されている国があります。1ヶ月スパンでアジアなどの南西アジアやアフリカの一部に流行が拡大しています。海外から日本に入ってくる可能性があります。また、海外から帰国した旅行者が、国内にポリオウイルスを持ち込んで、国内で流行を引き起こす可能性があります。また、海外から帰国した旅行者が、国内にポリオウイルスを持ち込んで、国内で流行を引き起こす可能性があります。
- **ポリオに対する免疫をもつ人の割合が減ると、流行する危険があります。**
現在、ポリオワクチン接種率が低下している国があります。また、日本でも、人口の急激な減少によって、ワクチン接種率が低下している地域があります。また、海外から帰国した旅行者が、国内にポリオウイルスを持ち込んで、国内で流行を引き起こす可能性があります。

インドについて

- 歴史は、世界四大文明であるインダス文明にさかのぼる国。
 - 人口は、12億人と15億人も言われている。
 - 首都はニューデリー、インド最大都市はムンバイ。
 - 母国語はヒンディー語、第二外国語は英語。
- 現在使われているのは、サンダル木(大木科)の樹脂(上座)と樹脂(下座)とを混ぜたものである。
- 平均月給2.2万円程度、月給で4万円程度、消費税22.9%、VAT(付加価値税)21.0%。



バラナシ(ベラネス)の火葬場とその隣で沐浴



ポリオ投与活動スケジュール 1月26日～30日



日	場所	時間	内容
1月26日
1月27日
1月28日
1月29日
1月30日

今回のインド訪問(1月26日)

- 1月26日 JAL749(成田発11時30分・飛行時間10時間20分)



今回のインド訪問(1月26日)

- デリーの気候は、最低気温が7度、最高気温が20度以下、夜から朝にかけて、濃霧に覆われる。
- 空港に到着後、ホテルに直行。



今回のインド訪問(1月26日)

ワクチン投与と宣伝のためのラリーに参加



今回のインド訪問(1月26日)



3か国合同のフェローシップ



日本・オランダ・ベルギー・オーストラリア・韓国・インド

今回のインド訪問(1月27日)

- 現地投与活動(ブース対応)
現地ブースにメンバー4人が一組となり、現地ロータリーアンの案内によって各ブースに出向いて投与を行う。ブースには、現地の保健士3名が待機している。



今回のインド訪問(1月28日)

- 現地投与活動(自宅訪問)
現地へ向かい、現地ロータリーアンの保健士、ボランティアとチームを作り、各家門へ向かい投与活動。その際、先日のマッチの目印を確認しながら。



戸別訪問

ロータリーの名、保健士2名とチームになり、戸別訪問を行う。保健士は、ほぼ昨日のワクチン投与に来ていないかという情報を持っている。



ポリオが常在している3か国の問題点

- 今でもポリオが常在している国は、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国。これら3カ国では、紛争や貧困といった政治・経済・社会が主な原因となり、ワクチン接種をすることが難しくなっている。
- パキスタンでは、イスラム教勢力が、ポリオワクチン接種活動に従事する人を殺害するといった活動が繰り返されている。なぜなら、2011年に国際人口総動員局の報告書「ワクチン接種率の低下が世界の健康危機」を発表したことがきっかけで、イスラム教勢力が、ワクチン接種活動に従事する人を殺害するといった活動が繰り返されている。
- また、ナイジェリアでは、以前一部の宗教指導者が、ポリオワクチンが不妊の原因になっていると主張していた。それを原因で、子供にポリオワクチンを接種させない両親が、いまだにいる。
- これらの例でも明らかになるように、ポリオという病気を根絶するためには、保健士やボランティアの活動だけでなく、医療と信仰の両方を踏まえ、政治・外交・社会的働きかけが必要なのです。

2820地区の財団の問題点

- 資金を集めるだけで、行動をおこしていないという実情。
 - 資金を集めることの意義の説明がされていない。
 - 最近では改善されてきたが、一部の人間関係で資金の使途が決まってしまう。
- 我々の財団の寄付が9年連続には地区に届っていないから、幸先で資金を活用していかなくてはならない。そのためにも、一時的な寄付ではなく、長期戦略を定めて相手クラブ、相手地区を定めるべきである。

3月は水と衛生月間

出席報告 五木田利明委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
50名	37名	13名	0名	4名	82.00%

ニコニコボックス 大串 卓委員 入金計 ¥93,000 累計 ¥1,520,000

誕生祝御礼《会員》鈴木(茂)・染谷(昭)・荒井・鈴木(旦) 各会員

《ご夫人》荒井・石塚(克)・島田・小島 各会員

IM成功おめでとうございます。皆様のご協力に感謝申し上げます。 石塚(克)会員

IMお疲れ様でした。 倉持会員

卓話をさせていただきます。 瀬戸会員

青少年奉仕委員会の活動で、薬物禁止に関する原稿を作成させていただきました。ありがとうございました。

鯉沼会員

IM開催クラブの皆様の協力のもと、無事終了しました。 青木(清)会員

IM無事終了致しました。会員皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。 熊谷会員

IMご苦労様でした。素晴らしかったです。 北村(仁)会員

青木ガバナー補佐のもとIMが立派に挙行されました。水海道RCの実力を十分に発揮されたと思います。熊谷実行委員長を始め皆さんご苦労様でした。 松坂会員

IM大成功でしたね！スタッフの皆さん、ご出席の皆さん、大変お疲れ様でした。 北村(英)会員

IMお疲れ様でした。拙い司会で大変失礼しました。 五木田(裕)会員

IM実行委員の皆さん、ご苦労様でした。 鈴木(邦)会員

IMご苦労様でした。 染谷(秀)・古矢・大串・大塚・小島・斎藤 各会員

IM大変お疲れ様でした。 石塚(利)・石井・青木(英) 各会員

青木ガバナー補佐、そして会員の皆様お疲れ様でした。 島田会員

本日早退します。 鈴木(茂)・雨谷 各会員

風邪でIM出席できませんでした。 山牟田会員

2週続けて議会のため欠席します。24日IM大変お疲れ様でした。 大澤会員

会報委員会 福田克比古委員長 荒井孝典副委員長 内村尚史委員

